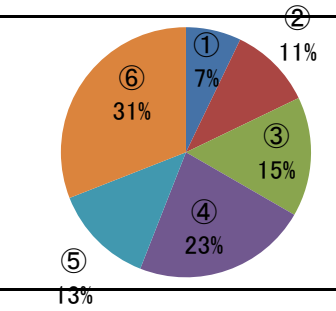
日本センター事業についての質問票

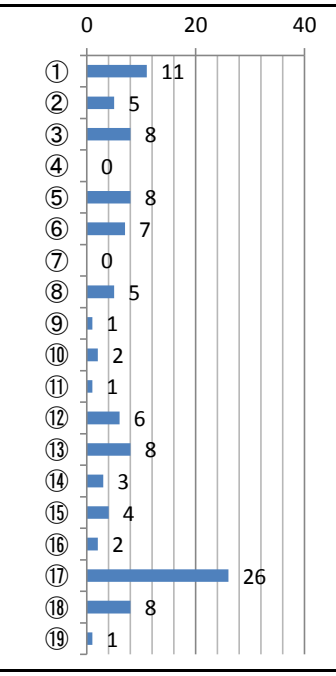
【日本センター内部関係者（理事会，監査評議会，所長及び職員）】

回答数：56名

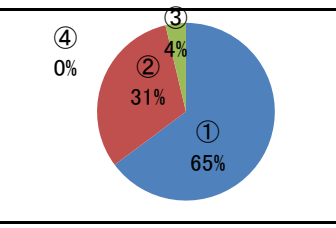
	あなたは，日本センターでどのような仕事をしていますか。	
	回答	
①	所長／総括	6
②	会計	9
③	運営／総務	13
④	事業（巡回講座／訪日研修，現地企画講座）	19
⑤	ビジネスマッチング	11
⑥	日本語講座	26



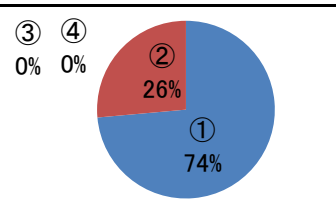
質問1	あなたは，日露経済交流の促進においてどのようなテーマを重視していますか。	
	テーマ（分野）	
①	中小企業経営	11
②	人事労務管理，マネジメント	5
③	顧客満足	8
④	マーケティング	0
⑤	カイゼン，生産性向上，品質管理	8
⑥	財務，会計	7
⑦	イノベーション事業化（ベンチャー）	0
⑧	貿易／経済交流実務	5
⑨	ビジネスプロトコル	1
⑩	小売業	2
⑪	運輸，ロジスティクス	1
⑫	医療	6
⑬	観光	8
⑭	農業／食品加工	3
⑮	環境／ゴミ処理	4
⑯	建設／都市インフラ	2
⑰	日本語	26
⑱	自治体交流	8
⑲	その他（右欄に記入して下さい。）	1



質問2	あなたは，日本センターが日本企業／ロシア企業のニーズに合致していると思いますか。	
	回答	
①	合致している。	35
②	やや合致している。	17
③	あまり合致していない。	2
④	合致していない。	0



質問3	あなたは，日本センターが日露経済交流の促進に寄与していると思いますか。	
	回答	
①	寄与している。	39
②	やや寄与している。	14
③	あまり寄与していない。	0
④	寄与していない。	0



質問3の2

日本センターが日露経済交流の促進に寄与している（していない）と思う理由を書いて下さい。
【寄与している】
※主な回答（下線は編集時に付記） ・日本センターはJETROや口東貿と並んで日露経済交流促進の課題を担って活動しているが、右機関が調査事業を大きな柱にしていたり、「大きく網を打つ」性格のイベントを実施したり、会員企業のニーズに応えたりすることを基本事業としているのに対し、どちらかと言えば日露のビジネスの個別具体の事象（企業、案件、地域、分野）の課題の解決支援に積極的に取り組んでいることに表れており、日露経済交流の拡大にとっては他に取って代われない役割を果たしている。

・日本語講座や日本語を勉強しているロシア人であればだれでも参加できる日本語会話クラブを月に1回開催しているため，日本センターには常に日本語を勉強しているロシア人との交流がある。そのため，日本センターには日系企業や大使館等からの日本語が出来るロシア人のための求人情報が集まり，多くの成立がある。日本の最先端技術の現地企画講座を行った際は，商談が行われたり，講座にHPの情報から問い合わせがあり，日本企業とロシア企業を繋げた。「カイゼン」の講座を行うと講師にロシアの工場の「カイゼン導入」の依頼があったりする。ロシア人のプロの料理人を対象に行った「日本食」の講座（2015年4月）では，料理人から講座中に日本の研石や包丁や，ロシアにまだあまり輸入されていない日本食材に対する新たなニーズを発掘できた。次回の同様の講座では，日本調理器の会社なども招待する予定である。

・独自のルートでロシアとの繋がりを持たない中小企業にとって、ロシアでの事業を展開するための情報収集等の場として日本センターが認識されていると感じられるため。

・様々な分野の学生からスペシャリストまでの幅広いロシア市民が日本語、日本の現実，日本人のメンタリティ、日本の文化を学ぶことができる。それこそが多くの分野での露日協力の拡大の基礎となる。

・日本語及び日本文化の知識は日露経済関係の発展にとり不可欠である。

・日本センターとそのプログラムの存在により，ロシアの中小企業は関心を有する分野で日本の経験を知ることができる。また，直接的なソース（研修や日本から派遣される講師等）から知見を得ることができる。さらに，互いの顔合わせの第一歩を踏み出すためにロシア企業はコンタクト先と提案を携えて日本センターに照会することができる。

・日本センターの活動のお陰でロシアと日本のビジネスマンはより緊密かつ生産的なコンタクトを形成し，ビジネスのさらなる発展のための新たなパートナーを発掘し，ビジネスの企画と実施のための手法やその他諸々についての新たな情報を得ることができる。これらは当然のことながら両国の経済関係の発展を促進している。

・日本センターの活動は露日間の言語面及び文化面での障害を克服することを可能とし，これにより間接的には経済分野における二国間協力の発展に肯定的な影響を与えていることは疑いがない。

・日露双方の特に中小企業に対して経済関係促進のきめ細かいサポートができていると考える。各種研修、セミナー、日本語講座当の実施により広範な経済交流が促進されている。

・日本センターが行っている講座やセミナーによって、ロシア人がよりよく日本を知る機会を与えており、それが経済交流につながっていると考えられるから。

・日本センターはエントレプレナーシップを支援しており，日露間のビジネス・パートナーシップの発展を促進している。また，日本センターは日本から成功体験を学んでロシアで活用することを望んでいるスペシャリストのために，研修やセミナーをアレンジしている。仕事で日本語の使用が必要なスペシャリストのために，無料の日本語講座が組織されている。また，日本センターの図書館には日露両言語で多種多様な蔵書があり，自由に閲覧できる。

・訪日研修生は，日本滞在中に新たな協力のアイディアを見つけ，日本全体について良い印象を持って帰国する。そのため，日本センターには，研修終了後に日本側との間でビジネスの構築を希望する研修参加者から要請が入ってくる。加えて，研修によって，日露ビジネスを行う上で重要な相互交流と異文化理解の能力も改善される。

・日本語講座では様々な職業の受講生がいるが，受講生同士ではなく，ロシア語を学ぶ留学生や日本企業の研修生と交流することができる。そのお陰で友好的なコンタクトだけでなくビジネス上のコンタクトが拡大する可能性がもたらされている。

・日本への興味・関心が高い当地のビジネスマンへの日本センターの存在感は大きい。日本とのビジネスを実践している中小企業経営者との日々の付き合いが緊密。当地進出日本企業との緊密な関係。よろず相談所。

・ビジネスマンに対する関係構築支援，露日企業家同士のビジネスプロセスの積み重ねと調整。

日本センターが組織する様々な行事に参加するビジネスマンの反応、ロシア企業の積極性。日本センターの努力のお陰で日露企業が共同でビジネスを開始することとなった成果。

・日本企業との協力を計画するロシア企業へのあらゆる支援。日本企業に対するロシア側組織・企業との面談のアレンジ支援。

・ロシアのビジネスマンに日本の様々な分野におけるビジネス手法の最新技術について学ぶ機会を与えるセミナーが実施されている。露日企業人同士の関係が構築されている。

・日本センターのあらゆるイベント及び日本語講座は日本という国、文化、経済発展レベルについてよりよく理解することを可能とし，これにより，多くの分野で露日関係の発展を促進している。

・ビジネスマッチングなどについては促進していると思う。特に取っ掛かりのない日露中小企業などに関しては、ロシア語/日本語でコンタクトを取れる日本センターには問い合わせをしやすいだろう。セミナー・日本語講座は潜在的に日露経済交流に寄与しているし、目に見える結果が出やすいものではないが、少しずつ浸透していく効果を持っていると思う。

・日露企業の関係構築支援。ビジネス・セミナー、ビジネス・パートナー探しの支援。

・日露企業間のコンタクトの構築支援。

・日本センターは、ロシアのビジネスマン及び自分の人生を日本と結びつけたい市民に対して情報面での支援とコンサルテーションを行っている。そしてそれを無償で実施している。

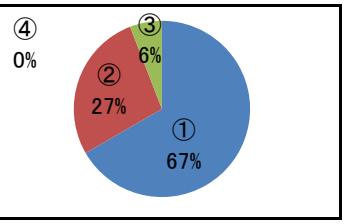
・日本センター事業はロシア側への働きかけ、特に人材育成支援や情報提供が主であり、この点からロシア側の環境整備という面で日露経済交流に寄与していると言える。

・ビジネス・セミナー、日本語講座、研修は露日経済関係強化を促進しており，ビジネス・パートナーがより実りある協力を行うことを可能としている。

【寄与していない】

・回答無し。

質問4	あなたは，日本センターが日露企業間のビジネス機会の拡大に成功していると思いますか。	
	回答	
①	成功している。	34
②	やや成功している。	14
③	あまり成功していない。	3
④	成功していない。	0



質問4の2

日本センターが日露企業間のビジネス機会の拡大に成功している(していない)と思う理由を書いて下さい。

【成功している】

※主な回答(下線は編集時に付記)

・ビジネスマッチングを始め、ロシア人ビジネスマンを対象とした研修事業を通じて(近年は訪ロ研修を含む)日露のビジネスの種を見つけ出し、育てる役割を果たしている。その他ビジネスサポートセンターの役割を担いつつあることも無視できない。

・ロシアの様々な地方で経済関係の講座を地域の要望を聞きながら企画し行っており，受講生が多い。日本語講座の受講生は日系企業や日本と取引のある会社勤務の受講生が増えている。

・ビジネス関係が構築されていない日露の中小企業が互いの存在や事業内容を知り、ビジネス関係の構築を試みる最初の足がかりとして日本センターの仲介が寄与しているケースが見られるため。

・日本センターはロシア国内で多くの多様な活動を行っており、その結果、多数のロシア人が日本企業との今後の実りある協力のための素養を得ている。

・日本センターはビジネス分野の様々なイノヴェーションやビジネス実践方法に焦点を当てた講座や研修，並びに，多様な分野における専門的なセミナーや研修を定期的に実施している。これらのセミナーや研修の参加者らには今後の活動に有益な多くの情報だけでなく，将来の日露協力の新形態の発見の可能性がもたらされている。

・セミナー開催、ロシア企業間での認知度の低い日本企業の活動に係る情報の発信は日露企業間の協力分野を拡大させている。例えば，農業関連のセミナーは，農産品加工業のロシア企業の間に大変大きな関心を呼び起こした。

・日本センターには日露双方の企業家からビジネス上のコンタクトの構築やパートナー探しへの支援依頼がなされている。

・日本センターは日露双方からの情報の獲得と普及のためのプラットホームであり，十分しばしば企業によって活動されている。

・実際に日本センター講座の卒業生がいろいろな分野でビジネスを始めたり、発展させたりしていると思われるから。

・最近数年間で日本との協力は顕著に強化され，サンクトペテルブルクでは一層多くの日本企業が進出するとともに，日露関係の行事が実施されており，これらの一部は日本センターの活動の成果である。

・最近だけでも日本側との協力を望む人々から多数の要請を受けており，日本センターの活動は総じて十分成功している、日本センターは経済情報の交換という重要な機能を果たしている。

・サンクトペテルブルク日本センターは日本と協力する企業家及び大企業の間で広く認知されている。

・日本とのビジネスを行う可能性がもたらされている。日本語講座の修了生の中には，獲得した知識を仕事(日本企業，または日本と協力している企業における仕事，ガイド・通訳としての仕事)に活かしている者もいる。

・日本センターにやってくるのはロシアとの取引経験が少ない企業が大半で、日本センターの持っている情報、ロシア側パートナーとの繋がりを活用できるメリットが大きい。特に当センターのビジネスマンクラブの会員やセンターを支援してくれる日本との取引経験を有するロシア企業の協力をセンターを核にして得やすい。

・日本センターの活動によりロシアと日本の企業は露日両国におけるビジネスに関する不可欠な情報を獲得できる。また，お互いに実際的な経験を共有できるとともに，友好的かつ文化的な関係を構築することができる。

・農業ビジネス、医療、食料品などの分野で現在進行中の日露企業の協力事例がある。

・ビジネスマッチング、関係構築・強化及びパートナー発掘のためのユニークな機会の提供。

・様々な協力提案やパートナー探しを目的として日露のビジネスマンの比較的頻繁な訪問。市内スーパーマーケットにおける日本製品の取扱いの拡大や日本製品に特化した店舗の開店等。

・ウラジオストク日本センターは20年間活動しており、この間に極めて多くのウラジオストクのビジネスマンが自分の会社に日本人ビジネスマンのビジネス・イノヴェーションを導入した。また，20以上のビジネス上の契約が締結された。

・情報面で企業について知ること，実務的なコンタクトの構築を支援している。日本センターを通じて構築された露日企業間の関係は最初から信頼関係の上に立っている。日本センターの日本語講座受講生はしばしば日露企業の職員である。つまり，日本センターは日露共同企業の人材育成に積極的に参加している。

・研修する可能性を持っていないロシアの中小企業のビジネスの視野を広げることは，極めて重要な課題。我々は，中小企業側の抵抗としかるべき地方行政府からの支援がないにも関わらず，それに取り組んでいる。

・日本センターの活動，特に経済に関するセミナーのお陰でサハリンの企業家らは日本のビジネス・パートナーを見つけ，自分のビジネスを拡大し，ビジネスのやり方に新たな知見を導入することができた。

・ニジニ・ノヴゴロドでは企業間の実務協力は高い潜在性を有していると思う。機械製作、化学、冶金、農業といった大きな産業面での牽引車があることにより，イノベーションと発展へのニーズは常にある。加えて，ニジニ・ノヴゴロドには，有数の高等教育機関があり，学術の一大拠点になっている。日本センター支部はこうした分野でも発展への展望を持っている。

・多数のビジネス・セミナー及び研修。ビジネス・サミットの実施における仲介。

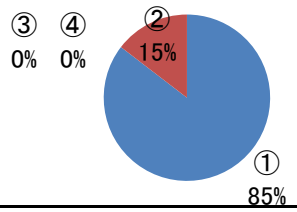
【成功していない】

※主な回答(下線は編集時に付記)

・具体的な成功例が見えない。ビジネスマッチングは、窓口のセッティングのみで、プロセス、結果をヒアリングしたり、報告を義務付けていない。あるビジネス・マッチングをセッティングした企業と先日あった折、結果を聞いてみた。最初のロシア企業の話は上手く行かなかったが、それを契機にある企業の買収案件にまで発展していた。

・現在日本センターのビジネスマッチング事業は、大企業は自社で市場開拓を行っている為、日本センターの支援は必要とせず、中小企業では個別のコンタクトや一本釣りのような形でしかコンタクトが成立していない様に思われる。 日本の産業別団体(工業会等)を通じて分野別に網をかけたり、一部では行われているが、地方自治体経由地域で網をかけるといった工夫が必要であると思われる。

質問5	あなたは，日本センターが日露経済関係について露側経済人にどのような認識を与えていると思いますか。	
	回答	
①	肯定的な認識を与えた。	41
②	やや肯定的な認識を与えた。	7
③	やや否定的な認識を与えた。	0
④	否定的な認識を与えた。	0



質問5の2

日本センターが日露経済関係について露側経済人に肯定的（否定的）な認識を与えたと思う理由を書いて下さい。

【肯定的な認識を与えたと思う理由】

※主な回答（下線は編集時に付記）

・日本センターが実施するビジネスセミナー、巡回講座、訪日研修により、多数のロシア人ビジネスマンが日本経済の実態を知る機会を得て、日露経済関係の発展に寄与したい希望を表明している。地方政府などと共催で講座や円卓会議を行い，感謝状などを贈られる。本日リペツク州政府からリペツクで開催する講座について感謝が記載された公式レターを受け取った。地方での講座の開会のあいさつに地方政府の代表などが挨拶をし，日本センターの活動について賛辞する。日本センターが講座を行うことに毎回好意的で，大変協力的である。

・日本センターが実施・協力する現地企画講座や各種研修事業を通して、限定的ではあるものの、これらの参加者が日露経済関係について肯定的な認識を持つ場を日本センターが提供していると感じられるため。

・日本語講座は日本語の知識だけでなく，日本の文化及び習慣についての知識を持った人材を育成している。セミナー及び講座は，有益なプラクティカルな意義を持つだけでなく，日本に対する肯定的なイメージの普及にも役立っている。

・新たなコンタクトの設定，新たなビジネス・プロジェクトの発生，研修及びセミナー参加者による新たな知見の獲得とその後の職場及びビジネスの発展への活用は，当然のことながら，ロシア経済界の露日経済協力に対する肯定的な認識形成を促進している。

・経済関係の強化，セミナー及び日本語講座は日本の文化への理解及びその受容を促進している。

・日本語講座やセミナー等を通じた文化的な交流は友好的関係を構築し，それが今後の経済協力関係の発展にも影響を与えている。

・研修や日本語講座，ビジネス・マッチング分野でのコンサルティングの提供を通じ，日本センターの活動は日本及び露日経済協力の肯定的なイメージ作りに貢献している。日本は多くのロシア人にとって依然として地理的に遠く，理解が容易でない国であり，これがビジネス分野におけるコミュニケーションを複雑化している。したがって，ロシアにおける日本センターの存在は啓発的な意義を有している。

・日本語講座で日本語学習を希望する者の人数が減少しないことに鑑みれば、受講生の大多数は露日経済協力に関する仕事の関係者であり，総じて，日本センターの活動は肯定的な関係を形成していると言うことができる。

・日本センターは，日本及びロシアの様々な地方の経済，観光、文化的潜在性に関するプレゼンテーション，露日間のビジネス・ミーティング、交渉、ラウンドテーブルをアレンジしながら，ロシアのビジネス関係者が露日経済協力の可能性、露日両国におけるビジネスの特殊性をより良く理解し，自らの強みやあり得べき課題と原因などについて理解した上で，ビジネス手法を構築する手助けとなっている。これらはすべてがロシア・ビジネスの日本企業との協力に対する肯定的な認識を形成するとともに，日本企業の側においてもロシア企業に対する信頼の形成に役立っている。

・日本センターは，高い専門的レベルのセミナーや研修，プレゼンテーションを実施しつつ，ロシア経済社会の露日協力に対する肯定的な姿勢を形成するのに役立っている。

・訪日研修の応募者との面談では、日本の経済力、製品生産力および品質管理力、各製品の素晴らしさ、日本の人事面での優秀さなどをよく耳にする。日本センターは、訪日研修、あるいは現地企画講座による情報発信、あるいはビジネスマッチングの際の情報提供によってロシア人経済人に肯定的な印象を与えられていると判断します。

・実際にセミナー・訪日研修などを受講した人は肯定的かつ感謝していると思う。

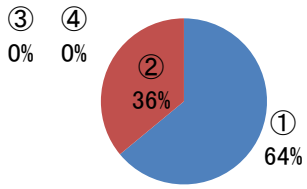
・経済に関するセミナー、日本語講座、OJTセミナーを組織することで，日本センターは日本についてより多くのことを知るための可能性を提供し，日本に対する肯定的な接し方を形成している。

・一般企業が行う単なる売り込みではなく、ビジネスのベースとなる知識やノウハウを無償でセミナーや研修の形で提供することは、ロシア経済の強化に必要なことである、といったコメントをロシア側から多々聞いている為。

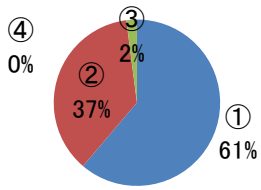
【否定的な認識を与えたと思う理由】

・回答無し

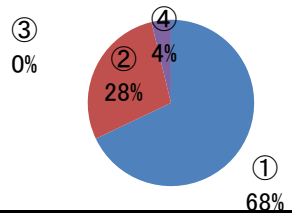
質問6	あなたは，日本センターがロシア側のニーズを取り入れていると思いますか。	
	回答	
①	取り入れている。	32
②	やや取り入れている。	18
③	あまり取り入れていない。	0
④	取り入れていない。	0



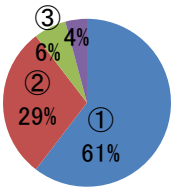
質問7	あなたは，日本センターが事業の策定に際してロシア側の意見を取り入れていると思いますか。	
	回答	
①	取り入れている。	30
②	やや取り入れている。	18
③	あまり取り入れていない。	1
④	取り入れていない。	0



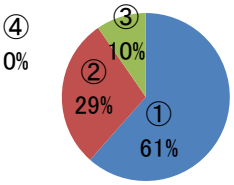
質問8	あなたは，日本センターが前年度事業の反省を次年度事業の改善に取り入れていると思いますか。	
	回答	
①	取り入れている。	36
②	やや取り入れている。	15
③	あまり取り入れていない。	0
④	取り入れていない。	2



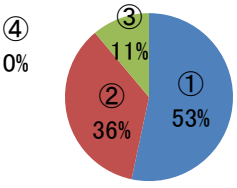
質問9	あなたは，日本センターが自らの事業に対するフォローアップを行っていると思いますか。	
	回答	
①	行っている。	29
②	やや行っている。	14
③	あまり行っていない。	3
④	行っていない。	2



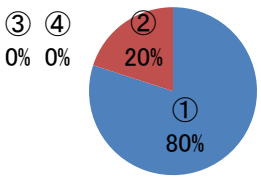
質問10	あなたは，日本センターがセンター間の連携を行っていると思いますか。	
	回答	
①	行っている。	32
②	やや行っている。	15
③	あまり行っていない。	5
④	行っていない。	0



質問11	あなたは，日本センターが他の日本側関係機関（JETRO,ROTOBO等）との連絡調整をっていると思いますか。	
	回答	
①	とっている。	24
②	ややとっている。	16
③	あまりとっていない。	5
④	とっていない。	0



質問12	あなたは，日本センターが他の日本側関係機関ができない活動を行っていると思いますか。	
	回答	
①	行っている。	36
②	やや行っている。	9
③	あまり行っていない。	0
④	行っていない。	0



質問12の2（質問12に1または2と回答した方へ）

あなたにとり，他の日本側関係機関にない日本センターの特徴は何だと思いますか。

※主な回答（下線は編集時に付記）

・日本センターはロシアの6都市にて個別案件、個別企業、個別テーマを取り上げ、それらの課題解決に取り組んでいる点が他の政府機関と根本的に異なる点であると思料。今後、日露の中小企業への支援を柱として広く門戸を開放して、ロシアの地域に根を下ろしたビジネスサポートセンターとしての役割を果たしていくことが期待されるものと考える。

・地方人材センターや地方政府等と共催で講座等を開催しており，様々な地方と信頼関係がある。信頼関係のある地域から日本の技術の導入や日本製品購入等の協力を受けることがある。直近では，クラスノダル地方から引合があり，日本の企業に問い合わせたところ，ある企業がロシアへの施設販売に関心を持ち，同社の施設を導入する方向で動いている。また，他の地域にも同件に興味がないか問い合わせたところ，トヴェリ州の企業から興味があると連絡があり，パートナーを通じ紹介。また，日本企業からビジネスマッチング等のアレンジの依頼があった場合，地方人材センターなどのパートナーは大変協力的。

・ロシア国内6ヶ所に拠点があることを活かし、各センターの所在地のみならず、各センターが管轄する地方の人材センターや関連機関とも連携できる体制にある点。

・拡散された支部ネットワークの存在，講座・研修受講生の豊富な人的基盤，地方とのコンタクト（地方行政府関係者、地方在住の大統領プログラム参加者），ビジネス講座、日本語講座，積極的な活動など。

・ビジネス界及び経済協力の発展への志向は，日本センターの活動の主な特徴の一つ。日本センターのお陰で，様々なビジネスの分野で新たな興味深いプロジェクトが生まれており，両国間の経済的結びつきを強くしている。それとは別に，日本センターにおける日本語講座は，ビジネスで活用したい人に完全かつ無償で日本語を学習する可能性を与えている。

・日本センターはロシアのスペシャリストに対してセミナーや訪日研修の参加を通じて関心を有する分野での知識を獲得することを可能とする。これらの知識はロシアの専門家の間でニーズが高く，セミナー参加者にも好評を博しているとの印象を持っている。

・日本センター（事業）は無償で実施され，露日間の文化的・経済的関係の強化という意義を十分に正当化できる数少ない組織の一つである。

・日本とのビジネス関係拡大に関心を有する人脈を蓄積していく非営利団体。

・具体的なきめ細かな協力ができている点。ビジネスマッチングに合致する企業を紹介する上で、双方のコンタクトが成立するまでサポートする等。セミナー、研修、日本語講座の実施を通じて広範な日本とのビジネスへの関心を喚起できている。

・すぐにビジネスに関わらないことでもロシア人が日本について学んだり接したりすることで、将来的な日露経済交流につながっていると思われるから。

・極めて多様な分野における企業幹部及びスペシャリストのための訪日研修のアレンジ。多数かつ多様なビジネスセミナー及びトレーニングの実施。無料の日本語講座。サンクトペテルブルクにおける多様な文化行事の開催への協力。

・サンクトペテルブルクには日本センターとジェトロしか存在しない。経済協力発展の分野では双方の活動は互いに近いところがあるが，日本センターには日本語講座，図書館があり，我々は様々な講座や行事を実施している。これもまた潜在的パートナーとしての肯定的な日本のイメージ作りに貢献している。また，ロシアの実業界が日本のメンタリティと文化的な特性について知ることを可能とするという点も大変重要である。

・日本センターは日本語講座、様々なテーマに関する講師を日本から招聘してのセミナー，訪日研修を実施している。これらはすべてユニークなもので，いかなる組織もこのような組み合わせでこれらの活動を実施していないし，こうした方向性のサービスを提供していない。

・日本語講座を実施するとともに，市内在住の日本人との会合をアレンジし，日露両国の文化・言語・経済についてより多くを知るための助けとなっている。

・ハバロフスクから見たら日本は非常に近い国。そのハバロフスクでの日本センターの役割は全ての活動を包括する立場のいわばよろず相談所である。

・日本センターはロシアの様々な都市にあり，各都市の企業人及び行政府と仕事をしている。したがって，地域の特殊性を良く知っており，露日双方の企業に経済関係の構築及び協力拡大のために必要なピンポイントかつ具体的な支援を行うことが可能。

・日本語講座については，無償で行われている唯一の場所である。日本センターには，様々な分野の専門家がおり，ビジネス、文化交流あるいは言語であろうと露日関係のいかなる問題についてもいつでも相談をすることができる。

・日露での実地経験豊かな所長からのアドバイスや、小さいことでも対処が得られること。質の高い訪日研修・日本人講師によるセミナーを無料で受講できること。無料の日本語講座を受けられること。

・自分の考えでは，日本センターの活動は多種多様でなければならない。ビジネス協力関係の発展にともない，日本の文化やメンタリティを知るための活動も実施されている。

・膨大な数の現地のビジネスマン、政府関係者とのコンタクト。

・露側のニーズをより深く理解しており，活動に於いてそれを考慮することができる。